

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 217

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

◇ 機器の増強に伴う業務停止について.....	1
◇ 科学研究費による計算機利用について.....	2
◇ INSPEC-A, B の検索サービス開始について.....	3
◇ 日本文字作描ルーチンNIHONのレベルアップ について.....	4
◇ TSS 講習会の開催について.....	4

◇ 機器の増強に伴う業務停止について

センターでは、10月末より、CPU, MSU及びMSS等の機器の導入のため、下記のとおりセンター業務を停止します。

記

月日	10月28日 (火)	10月29日(水).....11月4日(火)	11月5日 (水)
内 容	通常業務	業務停止 ← 受付, ジョブ受付, ジョブ入出力, TSS, プログラム相談, 滞在者控室 →	通常業務

注1.) 計算ジョブ(リモートバッチを含む)で10月28日(火)16時45分までに出力できなかったジョブは、業務サービス終了後17時より強制出力をし、センターの返却箱に入れるか、又連絡所送りとします。

注2.) 連絡所から依頼されるジョブの受付は10月28日(火)16時到着分で締切り、それ以後は11月4日(火)以降の処理となります。

注3.) オープンパンチ室の穿孔機は業務停止期間も利用できます。利用時間は下記のとおりです。

月～金 9:00～16:45
土 9:00～12:00

(業務掛 電(内)2518)

◇ 科学研究費による計算機利用について

1. 利用申請について

昭和55年度科学研究費による計算機利用は、内定の場合内定通知の写しを、決定の場合決定通知の写しを、申請書に添付してください。また、計算機利用申請書中の予算管理方法は打ち切り指定で取り扱いますが、打ち切りの場合でも次のようなことで予算額が超過することがありますのでご注意ください。

- ・ジョブの人力時に1円でも予算残があればそのジョブまでは実行されます。
- ・データセットの利用負担金は月末に一括して課金、累積処理を行っていますので、ジョブ又はセッションの終了時に表示される負担金累積額にはその月の分は含まれていません。

2. 利用負担金の請求について

科学研究費による利用負担金は、9月までの分を一括して10月に請求し、そのあとは月々請求します。2月分の利用実績は、2月末日までにお知らせします。なお、予算超過による他の経費(校費等)への振り替えは認められませんので、予算額を超過しないように利用して下さい。

3. 利用期限について

利用の有効期限は、2月20日ですが、所属部局によっては科学研究費の締め切りが早い場合がありますので経理担当者とは打ち合わせの上、申請願います。

4. データセットの消去について

予算額を超過した課題のデータセット、有効期限切れのデータセットは毎月末消去しますので必要とする方はその前に他の課題のデータセットへ移行してください。

(共同利用掛 電(内)2515)

◇ INSPEC-A, Bの検索サービス開始について

かねてから文献[1, 2]で予告していましたがFAIRS-IによるINSPEC-AおよびBの文献検索サービスを10月13日から開始します。しかし、センターのディスク容量の現状ではINSPEC A, B, Cの同時サービスは無理なので、下記のようにそれぞれ1週間に2回ずつサービスを行います。

データベース	内 容	サービス曜日
INSPEC-A	物理学関係の文献	月, 木
INSPEC-B	電気, 電子工学関係の文献	火, 金
INSPEC-C	計算機科学, 制御工学関係の文献	水, 土

INSPEC-AおよびBの使用法は、INSPEC-Cとまったく同じですので、使い方は文献 [1 , 2] をご覧ください。SELECTコマンドで指定するデータベース名、サブファイル名は、下記のとおりです。

データベース	データベース名 (サブファイル名)	文献収録期間	文 献 数
INSPEC-A	INSPECA	1978年～1980年	274,229
	(INSA78F)	1978年1月～6月	49,670
	(INSA78L)	1978年7月～12月	47,349
	(INSA79F)	1979年1月～6月	48,852
	(INSA79L)	1979年7月～12月	50,769
	(INSA80F)	1980年1月～6月	57,089
	(INSA80L)	1980年7月～	20,500
INSPEC-B	INSPECB	1975年～1980年	285,682
	(INSB75)	1975年1月～12月	44,978
	(INSB76)	1976年1月～12月	51,178
	(INSB77)	1977年1月～12月	45,862
	(INSB78)	1978年1月～12月	52,701
	(INSB79)	1979年1月～12月	48,511
	(INSB80)	1980年1月～	38,476
INSPEC-C	INSPECC	1973年～1980年	230,499
	(INSC73)	1973年1月～12月	24,523
	(INSC74)	1974年1月～12月	25,170
	(INSC75)	1975年1月～12月	28,861
	(INSC76)	1976年1月～12月	32,150
	(INSC77)	1977年1月～12月	27,586
	(INSC78)	1978年1月～12月	32,012
	(INSC79)	1979年1月～12月	35,019
	(INSC80)	1980年1月～	25,178

参考文献

1. 二村, 鬼塚, 高木, 松尾 FAIRSによる文献検索, 九大大型計算機センター広報, 12, 4, 1979, 319-350.
2. 二村, 鬼塚, 高木, 松尾 INSPEC文献検索の改訂とFAIRSカタログ機能, ibid. 13, 3, 1980, 263-277.

(データベース室 電(内) 2510)

◇ 日本文字作描ルーチンNIHONのレベルアップについて

NIHONルーチン[1]第1版は、漢字1000字種しか書けませんでした。JIS第1水準漢字(2965字種)、非漢字(特殊文字、数字、ローマ字、平仮名、片仮名、ギリシア文字、ロシア文字453字種)が書ける第2版を登録しました。第2版の使用法は第1版と同じです。第2版のプログラムサイズは、出力字種の増加によって第1版の62キロバイトから190キロバイトになりましたので、リジョンサイズにご注意ください。

参考文献

1. 松尾, 佐井 日本文字作描ルーチンNIHON, 九大大型計算機センター広報, 13, 2, 1980, 189-220.

(ライブラリ室 電(内)2509)

◇ TSS講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で行います。なお、募集人員については、会場の都合により定員になりしだい申込みを締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- ・期 日 10月22日(水)~24日(金)
- ・対 象 プログラミング経験者
- ・募集人員 50名
- ・会 場 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階)
- ・テキスト センターで用意
- ・時 間 割

	10:00	12:00	13:30	16:00
22	TSS の 概 要	昼 休 み	TSS コマンドの説明	
23	各種端末 } の使い方 FSO	昼 休 み	実 習	
24	実 習	昼 休 み	実 習	

- ・申込み期間 10月1日~10月18日(土)
- ・申込み先 九州大学大型計算機センター
共同利用掛(電(内)2505)

お 願 い

共用ボリュームの空領域が不足しています。システムを効率よく使うため、不必要なデータセットをお持ちの方は早目に消去くださるようお願いいたします。